

「あかんもんはアカン」と 言える勇気と行動が 京都市を変える!

岸田政権の、大企業、軍事優先の政治は、

いのちと暮らし破壊の政治。

今こそ、憲法を暮らしの中に生かす平和と民主主義の地方自治体
をつくるのが大切です。

市民の手に政治を取り戻す新しい年になるよう全力を尽くします。

京都市「行財政改革計画」は、市民の声無視、自民党政治言いなり、
門川市長の責任逃れです。門川市長は、「京都市は財政破綻してい
ない」とテレビキャスターの追及に答弁したのに、市民サービス
カット、負担増を押しつけるのか!! 許せません!!

▶ バスも地下鉄も250円に値上げを検討

伏見区内の近鉄電車部分を走る市営地下鉄に敬老・福祉乗車証で
乗れるように!

▶ 保育園の運営費補助金カットを検討

民間保育園の保育士等職員の給料カットに

京都市は90%以上の保育園を民間が担っているのに

▶ 気候変動で自然災害多発、火災から市民のいのちと文化財・ 財産を守る消防職員を150人も減らす計画

全消防署で人員削減計画

▶ 小学生の虫歯治療費無料のための3億円カットを検討

保護者負担に。治療の遅れが懸念される

子どもの医療費中学校まで無料にしていないのは
府内で、京都市だけ

▶ 向島地域の住民1万7千人が利用する「向島証明書発行コーナ ーの廃止」を今年4月から強行予定 「向島は京都市だぞー」

日本共産党市議員

あかさか
ひとし

赤阪仁

1953年1月22日大阪府貝塚市生まれ。高知大学卒業後、
京都の小学校で教壇に立ち、京都市教職員組合書記次長、
京都教職員組合書記次長等を歴任。教育・まちづくり・
住環境の改善から「住みよい伏見」を目指します。

くらしの相談は
月・水・金の
10時から17時です

TEL 075-621-6717

生活相談所

板橋小学校

両替町通

丹波橋駅

赤阪市議員は9月決算議会で追及

▶ 京都市内の中心部、伏見区を縦断する北陸新幹線延伸計画は、自然と暮らし破壊計画であり撤回を求める。

→京都市は、「行財政改革」の一方で、並行して総額2兆1千億円の「延伸計画」を進めると答弁。

▶ 小栗栖・大岩山の「違法造成された盛り土と産廃」の全量撤去、条例の改善、盛り土対策の指導を徹底すべき。

→「安全対策は、(21年)12月末に完了見込み。(山頂の)産廃は年内(21年)撤去完了にむけ指導する」と市長が答弁